

(別紙2-3)

事業所名:グループホームかえで荘

作成日:平成31年2月13日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	40	入居者様への支援を充実させる意味合いも含め、現在は盛り付けは行うが、できた食事を配達していただくという形態を行っていることで、一緒に食事を作るといったことができていないのが現状であり、課題でもある。	食事以外の部分で一緒に作る楽しみの機会を作る。	事業所が所有している畑等に果実がなっており、収穫できる場もあるため、時期を天候などを見ながら収穫と一緒に出向き、採取し、持ち帰った食材と一緒に調理し、食べるという楽しみの機会を作っていく。	3か月
2	6	身体拘束に対する話を常々、個別に職員と話を行っているが、解除に向けた取り組みとなるとなかなか意見が出てこないのが課題でもある。	身体拘束による弊害や人権守るという観点から、日頃の支援を振り返り、全職員が共通認識を持ち、支援に努めれるようにする。	全職員が共通認識を持ち、身体拘束に対する知識を深めていくため勉強会や日頃の職員同士の意見交換を行っていき、入居者様に対するよりよい支援の提供を行っていけるようにする。	3か月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。